

まちづくり市民意見交換会 開催結果（概要）

第6次総合計画の策定に市民の意見を反映するため、市内16会場で意見交換会を開催した。

1 日時及び会場

開催日	時間	会場	参加者数	意見数	アンケート回収数
7月22日(火)	午後2時～	安塚コミュニティプラザ	22人	6件	9件
	午後6時30分～	浦川原コミュニティプラザ	18人	13件	8件
7月23日(水)	午後2時～	清里コミュニティプラザ	17人	4件	2件
	午後6時30分～	大湊コミュニティプラザ	40人	19件	11件
7月30日(水)	午後2時～	牧コミュニティプラザ	12人	5件	0件
	午後6時30分～	板倉コミュニティプラザ	31人	6件	3件
7月31日(木)	午後6時30分～	市民プラザ	47人	24件	10件
8月1日(金)	午後2時～	大島地区公民館	21人	11件	9件
	午後6時30分～	三和コミュニティプラザ	22人	14件	3件
8月2日(土)	午前10時～	春日謙信交流館	30人	10件	3件
8月5日(火)	午後2時～	ユートピアくびき希望館	21人	7件	3件
8月6日(水)	午後2時～	吉川コミュニティプラザ	45人	11件	8件
	午後6時30分～	柿崎コミュニティプラザ	38人	11件	7件
8月7日(木)	午後2時～	名立地区公民館	15人	10件	5件
	午後6時30分～	はーとぴあ中郷	17人	11件	3件
8月9日(土)	午前10時～	カルチャーセンター	8人	15件	2件
計			404人	177件	86件

2 開催内容

(1) 第6次総合計画の策定状況について（説明時間45分程度）

- ・全体構成（資料1）
- ・上越市を取り巻く現状と課題（資料2）
- ・政策分野別基本方針と基本政策等（資料3）
- ・重点戦略（資料4）
- ・土地利用構想（資料5）

(2) 意見交換（1時間程度）

(3) 出席者

企画政策部長、企画政策課長、他 企画政策課職員5～6名

3 意見交換・アンケートの意見・提案等

(1) 基本構想に関すること

分類	意見・提案の趣旨
<p>三つの共通課題</p> <p>人口減少 世帯構成 の変化 歳入歳出 の不均衡</p> <p>計 37 件</p>	<p>【人口減少・世帯構成の変化への対応策】 計 24 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上越市の人口を増やすことを前面に出して、政策を打つことはできないか。 ・人口減少に対して消極的すぎるのではないか。人口の減り幅を抑制する考え方ではなく、人口を増やす政策を期待している。 ・県内の他の市町村では様々な人口減少対策を実施しているが、上越市も早急に具体的な対策に着手すべきではないか。 <p>【歳入歳出の不均衡への対応策】 計 13 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算不足の解消は住民ではなく、行政の手腕次第である。 ・財政赤字が発生するという事実で危機感をあおるだけでなく、それに対する対応を示してほしい。 ・平成 28 年度から財政赤字が発生するとあるが、これを緩和する対策を考えてほしい。
<p>将来都市像</p> <p>計 10 件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・都市像は大きな考え方を示すものとしてよい。 ・すこやかな暮らし（心の豊かさが満たされ快適で充実した暮らし）ができるまちを将来都市像とすることに共感する。 ・「すこやかなまち」は、総論的で分かりにくい。 ・第 6 次総合計画に掲げる将来都市像のすこやかなまちは、第 5 次総合計画にあるすこやかなまちを継承するものなのか。 ・人と地域が輝く上越とあり、人がクローズアップされているが、合併後の上越市では人材育成が弱い。
<p>市政運営の 基本方針・テ ーマ</p> <p>計 10 件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民とともにまちづくりを進めるために、市民の声をどのように集めるのか。 ・若者たちの関心が薄く感じる。現在以上に若者たちの行政に対する関心を高める工夫が必要と思う。 ・まちの力を活用と表現されているが、人の力も大切。頼れる人の活用が不足。抜きん出たOBもいる。活用すべき。 ・選ばれるまち、住みたいまちということで、魅力あるまちづくりのためにいろいろな面において検討してほしい。 ・まず市民にとって住みやすいまちをお願いしたい。
<p>政策分野別 基本方針</p> <p>計 6 件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安全安心を一番に持ってきて、人を中心とした計画としたことは評価できる。 ・3つの課題解決と基本方針との整合性が見えない。 ・市民が主役のまちづくりの基本方針について、強化な支援をお願いする。 ・各政策分野の「施策の柱」をどう具体化するかが「鍵」である。達成するためには、行政スタッフの頑張り、リーダーシップ、市民の積極的参加と協議意識の高揚に係っている。

分類	意見・提案の趣旨
<p>重点戦略</p> <p>計 14 件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内経済の循環を高めることを全ての施策の共通目標として取り組んでもらいたい。 ・弱いところを良くする観点だけではなく、強いところを更に伸ばすことにより上越市のポテンシャルを更に高めていく観点も必要ではないか。 ・重点戦略の設定の考え方と戦略の中身のつながりが分かりにくい。市民に分かりやすい見せ方の工夫が必要である。 ・重点戦略についてはよくわかった。全基本計画の中でも重点計画を5項目くらいに絞ってプレゼンテーションをすべき。行政は口を出しても金を出さなくてよいと考える。 ・重点戦略の中に少子化対策を盛り込んでもらいたい。 ・暮らし戦略の中に地域医療センター病院の機能強化など医療のネットワーク化について載せるべき ・暮らしの戦略のイメージの中で、自主防災組織の結成促進や活動支援とあるが、組織の結成率が上がっていることだけで、具体的な活動への支援が見えてこない。また、高齢者の見守り・支援とあるが、私の住んでいる集落は、13世帯のうち3世代同居が2世帯しかないため、見守り・支援の対応をできる人自体いないのが実情である。 ・暮らしの戦略のイメージは分かるが、市はどこまで力を入れて取り組むのか分からない。目標も言葉で表しており、どうにでも取られる。 ・交流の戦略について、夏場の交流ばかりではなく冬場の交流も十分考慮すべき。 ・交流について、東京オリンピックに関連したスポーツ振興をいうのであれば施設等はどうするか。
<p>土地利用構想</p> <p>計 18 件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交通ネットワークの構築に、行政が何をしてくれるのか書かれておらず、具体性が見えない。 ・都市部と山間部を一緒に考えることが大変だということは分かるが、上越市というくくりでもう少し考えてほしい。 ・これまではどこが市の中心なのか、中心にしようとしているのか分からなかったが、今回、都市拠点と地域拠点、生活拠点の具体的な地名を示したことで、各自治区における「まちづくり」が加速するものと思われる。
<p>その他</p>	<p>【計画全体の具体性】 計9件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体性がないのでよく分からない。 ・市民としては総花的な計画よりも、自分の住む地域において市が今後どのような施策を行うのかを知りたい。 ・基本構想・政策のイメージは立派にできているが、実現が可能かどうか。非現実的に見受けられる。もっと具体的なものを1つでも上げてほしい。 <p>【行財政改革】 計7件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政計画の見直しが予定されるが、総合計画との整合が図られるかが心配である。 ・予算が限られる中、ハード事業ではなくソフト事業に重点を置いてほしい。 <p>【計画策定の経過】 計6件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5次総合計画の検証結果や第6次総合計画との関連性がわかりにくい。

分類	意見・提案の趣旨
<p>その他 (続き)</p> <p>計 43 件</p>	<p>【市民への分かりやすさ・目標設定】 計 6 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合計画はある程度漫画的にするなど、市民が理解しやすい表現をお願いしたい。 ・計画の具体的な目標が数値で表されないと抽象的な計画になるので、具体的に記載してもらいたい。 <p>【地域別計画に関する意見】 計 5 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域別計画は、人口減少に対処するためには必要である。 ・市民にとって、自分が住んでいる地域が将来どうなるかは関心が高い。各地域をどのようにしていくのかを地区別計画によって丁寧に示すべき。 <p>【市民意見の反映・市民意見の定期的な聴取】 計 5 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的なアンケートは市民の声を把握するために効果的だと思うので、年に 1 回くらいはやってほしい。 ・市民の声をいかに反映させるかが大事である。幅広く意見を求めるべきであり、そのための方法を検討してほしい。 <p>【周辺地域との連携・広域連携】 計 1 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県央地区で三条の金物と加茂の桐製品を組み合わせるように、新幹線開業に際し、並行在来線で関係がある糸魚川も含めて適切に地域連携をとってほしい。 <p>【市内の地域融和の必要性】 計 2 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合併から 10 年になるが、合併前上越市と 13 区とのつながりが薄い。 ・地域をさらに分断させない工夫が必要である。 <p>【その他】 計 2 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の意見交換会を契機にまちづくりのを知ることができてよかった。 ・のんびりした地域なので、競争の視点に転換させる必要あり。

(2) 基本計画（政策分野別の施策）に関すること

ア 防災・防犯分野

分類	意見・提案の趣旨
大規模災害への対応力の強化 計7件	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような場面でも的確に対応できる方針を構築してほしい。 ・今後の自然災害対策についての具体的な記述と、市民に対しての市の考え方を明解に打ち出した方が良いと思う。 ・災害時には、情報伝達が重要となる。 ・原子力災害への備えを強化してほしい。 ・避難所の担当職員が配置されているが、勤務地が遠く、すぐには駆けつけられないのではないか。市民と地域と一緒に取り組まなければならない。
災害に強い都市構造の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・保倉川放水路整備を早期に進めてほしい。

イ 環境分野
なし

ウ 健康福祉分野

分類	意見・提案の趣旨
こころと体の健康の増進	<ul style="list-style-type: none"> ・市の健康診断の実績をもっと上げる努力をするべき。
地域医療体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・センター病院が老朽化し心配である。機能強化と改善・新築が必要である。
高齢者福祉の推進 計6件	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防のため、高齢者の居場所づくりが大切だ。これは、地域で取り組むことが効果的であると考えている。全てを市が行う必要はないので、地域で何が出来るかを市で検討してほしい。 ・新たな協働によるまちづくりに向けて、貴重な地域資源である「高齢者」の参加・活用を「政策の柱」を具現化する際に導入されることを要望する。 ・介護保険料の削減に取り組んでほしい。
子育て環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・同居でなくとも家族3、4世代が近くで暮らし、協力して子育てできることが理想的である。

エ 産業・経済分野

分類	意見・提案の趣旨
ものづくり産業・商業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の発展には地場産業の活性化が必要。
物流・貿易の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなエネルギー資源として注目されているメタンハイドレートなどをいかしたエネルギー港湾の取組を強化すべき。
新産業・ビジネス機会の創出 計8件	<ul style="list-style-type: none"> ・上越市から東京圏への転出者が多い。働く場として優良な企業の誘致をしていくという心構えを打ち出してもらいたい。 ・産業創出や6次産業化の支援の具体的なイメージを示してもらいたい。

分類	意見・提案の趣旨
観光の振興 計 18 件	<ul style="list-style-type: none"> ・観光分野に力を入れ、地域の良いところをもっとPRしてほしい。(各地区の観光資源の活用に関して多数提案あり) ・高田城や春日山などの資源を生かしきれていない。 ・域際収支という観点から、観光産業を振興して地域にお金を落とすという視点を持ってほしい。 ・総合計画で各地域の振興策や通年型の集客システムを打ち出してほしい。 ・人々の心が不安定になっている中で、四国のお遍路が注目され若者が訪れているように、「親鸞」を軸とした観光資源をつなげ「心の上越」として打ち出していけばと思う。 ・観光客が食事や宿泊ができる場所を整備してほしい。 ・観光の振興のために民間の活動を支援してほしい。 ・新幹線開業に当たり、公共交通の利便性を大いに高めてほしい。また、妙高市や糸魚川市と連携した観光施策を展開してほしい。
交流機会の拡大 計 3 件	<ul style="list-style-type: none"> ・新幹線開業や上信越自動車道の4車線化による交流人口の拡大を狙っているが、交流人口の拡大に向けた具体的な取組みを示してほしい。
就労支援の充実 計 5 件	<ul style="list-style-type: none"> ・上越市は、若い女性の雇用の場が非常に少ない。女性がいなければ、子どもは生まれず、残された親は高齢となり福祉にお金がかかる悪循環となる。三セクの施設などは若い女性の雇用の場になるのではないか。 ・交通アクセスなどを有意義に利用して働く場を確保してもらいたい。 ・若者の就労支援と非正規雇用の解消に力を入れるべきである。

オ 農林水産分野

分類	意見・提案の趣旨
農業の振興 計 6 件	<ul style="list-style-type: none"> ・農業振興と担い手の確保は重要施策と考えるのでお願いしたい。 ・農地の荒廃が進んでいるが、有効活用する具体的な対策はないのか。 ・第6次産業化など行政のできる面、NPOとの連携、個人の意欲など総合力を高めるコーディネーター役を期待する。 ・担い手の育成や専業農家で豊かな生活ができるようにしてほしい。
林業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・働く場の確保や地域の活性化のためにも、森林資源の利活用に力を入れてほしい。
中山間地域の振興 計 12 件	<ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地と空き家の利用を考えてほしい。 ・中山間地域は、転入者が家を建築しやすい制度改正を早急にしてほしい。 ・森林資源の活用など、市として実験的・先導的な取組を行うことが必要であり、それによって中山間地域の可能性を示すことが必要である。 ・行政は中山間地域対策の現実をよく見るべきだ。いろいろ配慮は感じるが、現実の施策ではそれが伴っていないことも散見される。 ・田舎体験などの地域コミュニティの取組が農業の原点だと思う。生業としての農業を追求するだけでなく、中山間地域に光が当たるようにしてほしい。

カ 教育・文化分野

分類	意見・提案の趣旨
「知・徳・体」を育む学校教育の推進	・人と人が絆を深めるには、人の立場を考え、相手を思いやる心がなければできないことであるため、心を育てる教育の分野にも力を入れてほしい。
学校教育環境の整備 計 4 件	・小・中学校の教育環境を良くすることが住みたくなる地域の条件である。 ・県外から学生が集まる教育機関（大学、研究機関等）の設立や学園都市にすることを検討してもらいたい。 ・子どもの数が減少したことで、保育園の統合が進み、中学校の行事は地域で支えながら継続させている現状にある。今後小中一貫校の導入や、通学のための交通確保により教育分野をしっかりとしないと地域が衰退する。 ・学校の統合は地域住民の合意を優先してほしい。
学びを通じた人づくり、地域づくりの推進	・区の公民館を事務的な施設にとどまらず、専門的な人材を投入し、教育文化の拠点施設化を目指すべき。
スポーツ活動の振興	・スポーツ活動の推進とあるが、公の施設の再配置で体育施設の統廃合が進められていることと矛盾しているのではないかと。市はスポーツ施設の維持を約束すべきであり、施設の改築計画を総合計画に載せるべきである。
文化活動の振興	・市民が主役のまちづくりは、実際の政策ではかけ離れたものとなっているのではないかと。特に教育・文化分野では補助金がカットされ、市民側に自主自立を促す傾向が強く、現状は市民任せになっている。

キ 都市基盤分野

分類	意見・提案の趣旨
機能的・効率的な交通ネットワークの確立 計 11 件	・実際に困っている中山間地域でバス運行の検証をしっかりと行ってほしい。 ・身近な地域交通である路線バスは、人口の減少に伴い、見直しが行われると思うが、高齢者は車の運転が難しくなるので、カットされては困る。 ・中山間地域の公共交通の手段は本当にバスで良いのかを検討してほしい。 ・H27年には新幹線が開業する。交通の便が良くなるのが、人口の流出に拍車をかけるのではないかと。 ・市内の交通ネットワークが合併前上越市との関係性ばかり意識されている。各区同士のネットワークも考えるべき。 ・交通ネットワークの構築とあるが、北陸新幹線開業と同時に並行在来線の取組が出てきていない。公共交通の確保を明確にすることが重要である。
土地利用政策の推進 計 8 件	・空き家対策を超法規的に進めることを検討してもらいたい。 ・区画整理地で人口が増加しており、そのような取組を進めていくべき。 ・上越・妙高駅周辺のまちづくりのビジョンについて何か施策の考え方があってもよいと思う。 ・地区の状況により、工業団地の用途指定の変更や宅地の開発を検討してもらいたい。

ク まちづくり分野

分類	意見・提案の趣旨
男女共同参画社会の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画の促進と相談体制の充実が必要であり、力を入れてもらいたい。
地域自治の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少や財政状況など厳しい環境の中で市の役割が増えていくことを懸念する一方で、中山間地域の衰退は深刻で、相対的に地域や市民の負担が大きくなることを懸念する。計画の実行性を確保するためには、行政と市民の役割が大きな問題である。 ・都市内分権の推進が重要である。 ・地域自治区に対する行政の支援が不十分である。地域協議会で地域が元気になる提案をしようとしても、支援が不十分なので実績が上がりにくい。 ・地域の中で具体的な課題について話合う機会があってもよいのではないかと。 ・各区の人と十分に意見交換し、その声を踏まえた計画にすべきである。 ・都市部において、人と人とのつながりが薄くなっている。防災面からも人と人とのつながりが大切であり、その構築に向けて取り組んでほしい。 ・上越市は多くの潜在力を持ったまちであり、市を発展させるには、市民の意識変革が必要であり、行政へ注文するだけでなく、自分たちが考えることが大切である。 ・地域協議会は、ここ4、5年は活発になってきた。地域活動支援事業は、他の区で良い事例があっても他の区の人が事前に知ることができず、参加の機会がないので、もっと多くの市民が参画できるようにしてほしい。 ・市民が市政や地域に関心を持ち、協力するスタンスが大事である。 ・市民から地域活性化のためのスローガンを募集してはどうか。 ・小規模の集落同士で共通課題の解決に向けての話合いの場や、冬場の健康教室、町内会館の開放など、住民からの発案を大事にしていく活動が始まっている。住民が集まることで地域防災や健康などについて思いが深まり、地元で暮らすことに安心が生まれる。 ・一市民としてできることを周りの人と相談し合える関係をつくりたい。
計 25 件	